平成２２年２月１２日

New technology Commercialization center of Tohoku

東経連事業化センター情報

「産学マッチングＦＳ助成制度」の採択案件について
～新たに２件の助成を決定～

東経連事業化センター（会長・幕田圭一(社)東北経済連合会会長）では、技術シーズの事業化の可能性を調査するＦＳ（フィージビリティ・スタディ）への助成を行っておりますが、このたび、産学マッチング委員会（委員長・髙橋四郎　東北イノベーションキャピタル㈱取締役）での検討を受け、新たに２件の助成を決定しました。これにより、ＦＳ助成制度の採択案件は合計２０件となります。

「産学マッチングＦＳ助成制度」とは、大学等の技術シーズを対象として、事業化の可能性を評価するＦＳ調査のための資金を助成するもので、助成額は、東経連事業化センター、（独）科学技術振興機構（ＪＳＴ）がそれぞれ１００万円、合計２００万円が上限となります。

今後、産学マッチング委員会では、対象案件に対しＦＳ調査の資金助成を行うほか、事業化に向けた支援を実施してまいります。

今回採択された助成件名の概要は、別紙のとおりです。

なお、産学マッチングＦＳ助成事業は申込を随時受け付けております。

以　上

【本件についての照会先】

東経連事業化センター　西山、阿部、大粒来（TEL. 022－225-8561）

別　紙

「産学マッチングＦＳ助成制度」に採択された助成件名の概要

NO.19	ナメコ野生菌株から空調栽培適合菌株を選抜するＤＮＡマーカー利用技術の開発
代表開発者	木村栄一（株式会社キノックス　常務取締役研究所長）
共同開発者	千葉直樹（宮城県農業・園芸総合研究所　副主任研究員）
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	丹野耕一（宮城県農業・園芸総合研究所　研究管理監）
助成金額	東経連事業化センター：１００万円
助成期間	平成 22 年 1 月～22 年 12 月
課題概要	ナメコは、現在そのほとんどが空調栽培によって育成されており、自然栽培によるものは少なくなってきている。空調栽培は、生産性には優れているものの、自然栽培が持つような味わいを出すことは難しい。 本研究は、宮城県農業・園芸総合研究所が保有するマーカーアシスト選抜技術を用いて、野生菌株から空調栽培に適した菌株の遺伝資源を選抜する技術を開発するもの。これにより、空調栽培でも自然栽培のような味わいを持つナメコの品種開発が可能となる。

※空調栽培：温度と湿度を人工的に管理して栽培する方法。生産時期が限定される自然栽培と違い、一年中きのこが生産できる。

※マーカーアシスト選抜：優良な遺伝子を持つかどうかによって、個体を直接選抜する方法。

【会社概要】

会社名	株式会社　キノックス
所在地	宮城県仙台市青葉区落合１―１３―３３
設立	昭和３３年８月
代表者	代表取締役　郡山　賢一
資本金	１５，０００ 千円
従業員	３５名
取引先	全農各県本部、農協、森林組合、種苗店、きのこ生産者（組合、企業）
事業内容	１．食用きのこ類菌種の製造・販売 ２．きのこ栽培の技術指導 ３．きのこ関連資材および機器の販売 ４．きのこの育種および栽培技術の研究開発 ５．乾燥しいたけの仕入れ・販売
特徴	・ナメコ種菌の国内販売シェアは８割を超える。 ・国内種菌メーカーとして初めて『国産安心きのこ認証』を取得。 ・第１０回日本きのこ学会において技術賞を受賞。 ・第１０回民間部門農林水産研究開発功績者表彰事業（H21）において、農林水産大臣賞を受賞。

NO.20	水産物（ホヤ、うに、牡蠣等）を対象とした新規低温保存方法の開発
代表開発者	君塚道史（公立大学法人宮城大学　食産業学部　フードビジネス学科）
共同開発者	服部國彦（大青工業株式会社　代表取締役） 君ケ洞幸輝（有限会社ヤマキイチ商店　代表取締役） 鈴木　徹（国立大学法人東京海洋大学　海洋科学部　食品生産学科）
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	鈴木康夫（宮城県産業技術総合センター　所長）
助成金額	東経連事業化センター：１００万円
助成期間	平成22年1月～22年12月
課題概要	生鮮水産物の市場価格は鮮度によるところが大きい。既に実用化されている氷温保存は従来の冷蔵保存に比べ、食品の保存日数を２～３倍延長できる事が知られている。 本研究では、現在知られている氷温の温度よりさらに低い温度領域まで拡大可能な条件を検討する事で、保存日数を延長させる新たな低温保存方法の確立を目指す。 これにより、水産物のみならず様々な生鮮食品の保存への応用が期待される。

※氷温：氷温は０℃以下でも食品が凍結しない冷蔵と冷凍の中間の温度域をさし、温度、湿度などを厳密に管理する技術が必要。食品の鮮度維持の向上と同時に食品を熟成させ甘み、旨みを向上させる効果がある。（「氷温」は氷温研究所による商標登録）

【会社概要】

会社名	大青工業株式会社
所在地	青森県青森市問屋町１丁目９－３０
設立	昭和２５年５月
代表者	代表取締役　服部　國彦
資本金	４５，０００ 千円
従業員	４６名
取引先	ＪＡ全農、大分県柑橘試験場、ＪＡ十日町、青森県漁連、三菱電機㈱　他
事業内容	１．冷凍・冷蔵設備工事 ２．冷凍・冷蔵機械設備製造 ３．食品保存受託研究
特徴	・各種食品の氷温技術を通じ地場農産物の付加価値向上に取組んでいる。 ・氷温技術開発によるソリューション提供を行っており、野菜、果物等（ニンニク、桃など）の保存期間の延長に成功している。

【会社概要】

会　社　名	有限会社ヤマキイチ商店
所　在　地	岩手県釜石市大字平田６－８３－９
設　　立	平成３年１月
代　表　者	代表取締役　君ヶ洞幸輝
資　本　金	３，０００ 千円
従　業　員	１０名
取　引　先	岩手県漁連、釜石市漁協、宮市、マルイチ産商、一般顧客
事業内容	１．生鮮魚介卸 ２．水産物加工販売
特　　徴	・三陸産の新鮮な海産物を販売。ホタテ専用のいけすがあり、活きたままの「泳ぐホタテ」や、春先から９月にかけては獲りたてのホヤを独自の梱包・発送方法で販売している。 ・独自の冷凍方法で、旨み成分を閉じ込めた「泳ぐホタテの貝柱」を販売。 ・今回の研究により、ホヤなどの生鮮水産物の鮮度保持期間の延長が可能となれば、年間を通じて新鮮な水産物の販売ができるようになる。

（参考 1）

東経連事業化センターの概要

１．組織名　／東経連事業化センター
（正式名称：東北地域新規事業化支援センター）

２．設立目的／東北地域の競争力強化に向けて、マーケティング支援をはじめとする新産業・新規事業の創出支援に東北地域の産学官の総合力を発揮して取り組み、地域イノベーション・システムの強化を図ること。

３．組織形態／東北７県の企業支援機関、産学官連携機関、大手企業等を会員とする任意団体

４．活動期間／５年間（平成１８年４月～平成２３年３月）

５．活動経費／年間５千万円程度

以　上

（参考２）

「産学マッチングFS助成制度」の概要

１.目　的

本制度は、東経連事業化センターが産学マッチング支援事業で支援する研究シーズ等に対して、「事業化の可能性を的確かつ迅速に評価するための試験等」（FS：フィージビリティ・スタディ）を行い、事業化を推進することを目的とする。本事業を契機に、国等の競争的資金への申請支援も併せて行う。

なお、本事業は、東北地域全体のイノベーション・システム構築に向け、東経連事業化センター、(株)インテリジェント・コスモス研究機構（ICR)、(独)科学技術振興機構（JST）が協力して実施する。

２.申込対象

大学等の研究者、東北７県の企業

３.対象となる技術シーズ

事業化のために可能性試験が必要となっている技術シーズとし、以下を条件とする。

① 当該シーズの事業化を目指す企業が存在することを基本とする。
② 当該シーズを導入することで従来製品に比べての優位性を示すデータが存在すること。
③ 事業化に向けて、特許取得済み、または権利化の可能性が高いこと。

４.選考および結果の通知

評価基準（※）に基づき審査の上、当センター産学マッチング委員会での評価を経て採択有無を決定する。申込は随時受け付け、採択有無については２ヵ月程度で書面にて回答する。

（※）評価基準

① 市場ニーズが高いシーズであること
② 事業化の可能性が高いシーズであること
③ 新規性・独創性があるシーズであること
④ 適切な研究計画で目標達成の可能性が高いこと

５.助成金額

100～200万円。

当センター単独での助成金額は原則100万円を上限とする。ただし、原則100万円を上限に、併せてJSTの助成も受けることができる。

６.応募手続き

「東経連事業化センターＦＳ助成申込書」を当センターのホームページ（http://www.nc-t.jp/）からダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送で提出する。本申込書をもって併せてJSTからの助成にも申込むことができる。

以　上

（参考３）

これまでの採択案件

※（平成 19 年度採択①～⑦、平成 20 年度採択⑧～⑭、平成 21 年度案件⑮～⑱）

①**「ナノカーボンセメント面状発熱体製造技術の開発」**
石巻専修大学　亀山教授、㈱ティーアールティー（石巻市）

②**「手術シミュレーション用口腔内モデルの開発」**
東北大学　太田准教授、㈲テクノ・キャスト（大崎市）

③**「電磁力を利用してネジ山をセラミック粒子分散強化したアルミ製ネジの開発」**
東北大学　谷口教授、㈱日本セラテック（仙台市）

④**「発毛効果を有するカキドオシ・エキスの研究開発」**
秋田大学　杉山教授、㈱エーティー・ラボ（秋田市）

⑤**「薄地炭素繊維織物とその積層織物の製造技術の開発」**
福島県ハイテクプラザ　三浦研究員、齋藤産業㈲（川俣町）

⑥**「ガス除去フィルタの開発とその応用」**
東北文化学園大学　野崎教授、東スリーエス㈱（仙台市）

⑦**「電力需要予測サービスに向けた先進的未来予測プログラムの開発」**
㈲ザゼンソウ技術開発研究所（盛岡市）、岩手大学　伊藤研究員

⑧**「サケ頭部の未利用部位を高度有効活用した健康で大型の錦鯉の育成技術の開発」**
北里大学　森山准教授、㈱丸辰カマスイ（釜石市）山源錦鯉（長岡市）

⑨**「体外受精（出生）児のインプリント異常症診断システムの開発」**
東北大学　有馬准教授、G&G サイエンス㈱（福島市）

⑩**「新野菜プチヴェールを利用した機能性食品の開発」**
新潟薬科大学　西田助教、㈱ブルボン（柏崎市）

⑪**「高機能めっき皮膜を用いた信頼性の高い電子基板の実用化」**
山形県工業技術センター 三井専門研究員、㈱スズキハイテック（山形市）

⑫**「表面改質技術を用いた超硬金型のクラックレス化」**
新潟大学　田村准教授、新潟精機㈱（新潟市）

⑬**「金属ガラスを使用した低温拡散接合による高精度加工技術の開発」**
東北大学　横山准教授、東北学院大学　嶋准教授、
㈱ＷＥＬＣＯＮ（新潟市）

⑭**「フォトニック結晶を活用したインライン型高速薄膜測定機の開発」**
仙台応用情報学研究振興財団　川上主幹研究員、凌和電子㈱（仙台市）

⑮**「糖類（単糖）を出発物質とする化学反応設計のための新規ソフトウェアの開発」**
フロムシード㈱（仙台市）、東北大学　猪股教授

⑯**「高耐熱合金部品バリ取り及びエッジ仕上げ技術の確立と自動機の開発」**
福島県ﾊｲﾃｸﾌﾟﾗｻﾞ（いわき技術支援ｾﾝﾀｰ）　緑川主任研究員、
株式会社スター精機（相馬市）

⑰**「貴金属ナノコロイド触媒を用いためっき難素材へのめっき技術開発」**
株式会社ケディカ（仙台市）、(独)産業技術総合研究所　堀内主任研究員

⑱ **「高出力電磁調理器対応鋳鉄製厨房用品の開発」**
及源鋳造株式会社（奥州市）、東北大学流体科学研究所　圓山教授、
宮城県産業技術総合センター久田　副主任研究員

以上